

仕 様 書

1. 件名:ICP 質量分析計排気ダクト設置作業

2. 研究の概要

国立研究開発法人産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門（以下、「産総研」という）では、東南アジアや国内における調査や情報整備を通じた資源開発可能性調査、および、それに資するための新たな地化学探査法の研究を推進している。この一連の研究では、各地域で得られる鉱石、岩石、川砂などの試料に対して極めて微小な量での元素濃度を ICP 質量分析計を用いて分析する必要がある。

3. 作業の概要

本作業は、ICP 質量分析計の需要が高まり、研究推進には装置を含めた実験室の効率化が必要であることから、実験室の効率化に向けて装置の追加設置のための排気設備を増設するものである。実験室天井付近に設置した排気ファンにより、当該装置より排出されるエアーを屋外へ排気出来るようにする。

4. 装置の概要

- ・ 品名 Agilent8900
- ・ 製造メーカー名 アジレント・テクノロジー株式会社
- ・ 型番 G3665A
- ・ 数量 1 台

- ・ 品名 Agilent7500
- ・ 製造メーカー名 アジレント・テクノロジー株式会社
- ・ 型番 G3272A
- ・ 数量 1 台

5. 作業の構成

- 5-1:排気ファン設置作業
- 5-2:ダクト配管設置作業

6. 構成別仕様詳細

下記作業を行い、その結果を作業報告書として提出すること。

6-1: 排気ファン設置作業

6-1-1: 排気ファンは、屋内設置型としモーター直結駆動式のシロッコファンであり、排気ファン1系統につき装置2台の接続が可能なこと。

6-1-2: 排気ファンは1台あたり $20\text{m}^3/\text{min}$ 以上の排気能力を有しているものを2台設置すること。

6-1-4: 排気ファンの設置場所は天井とし、金具にて固定を行うこと。

6-1-5: 排気ファンおよび排気ファンを操作する操作盤は、申請者が指定する場所に設置すること。

6-2: ダクト配管設置作業

6-2-1: 6-1 で設置する排気ファンから室内排気口へ接続し屋外へ排気出来るようにすること。

6-2-2: 排気ファンから接続するダクト管は、 250mm ϕ 以上のものを使用し、装置と接続する場所4カ所の末端は 150mm ϕ のフレキホース(樹脂製)とすること。ダクト管を延伸する箇所に壁があり、穴をあける等の作業が必要な場合には調達請求者と協議を行うこと。
なお、ダクトの箇所については別紙1のとおりである。

7. 特記事項

7-1: 設置する排気ファンの供給する電源は三相200Vとし、排気ファン設置部屋内の分電盤から排気ファンまでの配線は、施工業者が行うこと。

8. 支給品・貸与品

なし

9. 確認試験

作業完了後に調達請求者の立会いのもと、「6. 構成別仕様詳細」を満たしていることおよび設置された排気ファンの能力確認として既設装置(Agilent社ICPMS)と接続して既設装置のプラズマが点火し、10分以上消火しないことを確認し、その結果を確認試験成績書として提出すること。

10. 納入の完了

作業完了の後、「11. 納入物品」に記載された納入物品が過不足なく納入

され、仕様書を満たしていることを確認して、納入の完了とする。

11. 納入物品

確認試験成績書	1 部（紙媒体）
作業報告書	1 部（紙媒体）

12. 納入期限および納入場所

納入期限：2025 年 12 月 26 日

納入場所：茨城県つくば市東 1-1-1 中央事業所 7 群

国立研究開発法人産業技術総合研究所

地圏資源環境研究部門

つくばセンター中央事業所 7 群 7-3A 棟 02222 室および 02223 室

13. 付帯事項

- ・ 本仕様書の技術的内容及び知り得た情報については、守秘義務を負うものとする。
- ・ 本仕様書の技術的内容に関する質問等については、調達請求者と協議すること。また、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、調達担当者と協議のうえ決定する。
- ・ 本作業完了後 1 年以内の本作業に起因する故障・不具合については、その修理・調整作業等を無償で実施すること。
- ・ 請負者の責において及ぼした損害は、請負者が賠償すること。
- ・ 本作業で発生した不要となった物品・消耗品はすべて回収し、廃掃法及び他の関連法律、地方自治体の指導要綱等に基づいて処理すること。

以上

